

チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	- (事務局用)	地域の魅力発見・発掘及び地域課題解決が アクティビティとなる新しい観光体験	多摩市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	歩いてシェアするそんな街 ～マルシェアタン～ for Tama city		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

チーム名(公開)	GUMI		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数(公開)	6 名		
代表者(公開)	山口 拓真		
メンバー(公開)	井山 颯、田中 久留美、田村 心優、相原 美緒、小出 紫萌		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。
<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認

確認後 OK なら右に○印を記入⇒○

2. アイデアの説明(公開)

(1) アイデアの内容(公開)

(1)アイデアの内容、(2)アイデアの理由、(3)実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、**何を**する社会的な活動(サービス)なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、**魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい**なる、そしてその結果として、課題が解決される、そんな**わくわく感のあるアイデア**を期待します。**2ページ以内**でご記入ください。

<応募チームとして**解決したい課題のポイント**はこれです！を**ごく短く以下**に書いてください>

<解決したい課題のポイント>

1. 地域の魅力発掘
2. 地域ポテンシャルの再認識
3. 地域のコミュニティの減少、

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください><アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

<GUMIの意気込み>

街を歩くことの価値を再認識してもらい、市民が能動的に楽しさを求め街中を歩く社会の実現。ま

た、街本来が有しているポテンシャルを再認識してもらい、能動的に活気にあふれるような街の実

現を目指します。

企画名 マルシェアタン 「マルシェ(歩く)とシェアを重ね、それに実在する街の名前

企画の対象 カルチェラタンを文字ってマルシェアタンと呼びます。」

- ・ 地域を歩いている人(地域住民)
- ・ 宣伝を見た人(地域住民/観光客)
- ・ 訪れるところに困っている人(観光客) など

多摩市の景色も魅力の一つに

私達 GUMI が注目したのは街の景色です。その景色を活用して、風化した**多摩市の景観**を街ゆく人達に再発見・発見をしてもらい、街歩きの楽しさを市の魅力の一部にします。

2. アイデアの説明(公開)

(1) アイデアの内容(公開)

<大まかな内容>

多摩市の綺麗な景色が見える場所を選出し、そのスポットに QR コードの記載された目印を配置します。この QR コードを読み取った先は、そのスポットで感じたことなど記入できる掲示板が載せてあるサイトにとびます。このサイトでは、多数のユーザー同士が同一の#(ハッシュタグ)でまとめられたページで会話をすることが出来、コミュニティの作成などが可能になります。そして、この#は随時増やすものとしていて、地域の人やほかの場所から観光できた人などが新しく見つけた綺麗な場所や、その他にも、季節に応じた#などを作り、マンネリ化の防止も出来ます。

上記のことを、サイトを通して行い能動的な人の流れを作り、又景観や季節などの感覚的な部分での魅力の再確認を促すことが出来、結果として街歩きの魅力の総合的な活性化を狙うのがこのプロジェクトの概要です。

また、このプロジェクトの展望としては、サイト内でのコンテストの開催や、多摩市以外の場所を含めた規模の増加を考えています。

<内容の詳細>

{集客方法}

現時点でイラストQRコードとポスターを主力とし、ほかに絵の設置などを模索中。加えて地域の子供たちが描いた絵を看板の要領で貼ることも検討中。

{サイト}

(現時点の サイト)

・その場所で感じたことをかける掲示板

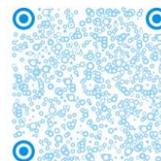
・プロジェクトの宣伝

イラストQRコード→

・近辺の別のスポットへのガイド

{PR}

サイトのイメージ図→



2. アイデアの説明(公開)

(1) アイデアの内容(公開)

このPRの主なターゲットは地元を焦点を当て、展望として市外のこと視野に入れてPRを考えています。しかし、地元と市外でPRの方向性を少し変えていきます。

- ・ 地元の場合は地域のワークショップや口コミでのPRを考えています。また、街の掲示板や駅などの人通りのある場所に掲示することで、対象を問わない形式でのPRも可能にしています。
- ・ 市外へのPR方法として、1つ目はSNSの活用。2つ目は学校内での呼びかけを考えている。

同じ世代の人々やSNSに興味を持ってくれる人にSNSなどを活用して発信していくのは、高校生の私たちにはワークショップなどに比べて実行しやすく、高校生なりの視点で発信していくことにより新しいものが生まれてくると考えます。

{スポット}

主に景色の良い場所をGUMIが選出し、そこをスポットとする。具体的な選定基準として万人受けしやすい要素を上げ、選定します。(要素であって必ずしもクリアしなければならない条件ではない)

その要素として考えたものが、以下の4つと加えて候補地です。

- 1.見通しが良い 2.自然が見える 3.夜でもきれい 4.アクセスが悪すぎない



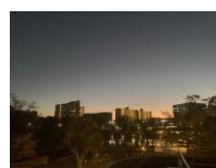
天皇橋



永山駅



聖ヶ丘学園通り



パルテノン多摩

<最終的な到着点>

- ・ 多摩市の後輩や後駆者のために例えば街を使った謎解きをしたいや、探究として街の店の情報を載せたい。歴史や季節をわかりやすく載せたいと言う声を実現できるようにするために、最終的にこの

2. アイデアの説明(公開)

(1) アイデアの内容(公開)

スポットやシステムをオープンに開放していきたいです。誰でも探究活動の場として機能できるようにしたい。私たちが作るものが私たちが完結せず、街の人が有効に活かせることができる形が最も良い状態と考えます。

(2) アイデアの理由(公開)

次にアイデアを提案する理由(なぜ)について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます>

<先の(1)で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

現状として開発後 50 年の多摩ニュータウンを抱える多摩市。そんな多摩市では取り組むべき課題が山積されていると公言されています。特に多摩市は地域の魅力発見・発掘に力を入れていてそれは COG の自治体課題からもうかがえます。

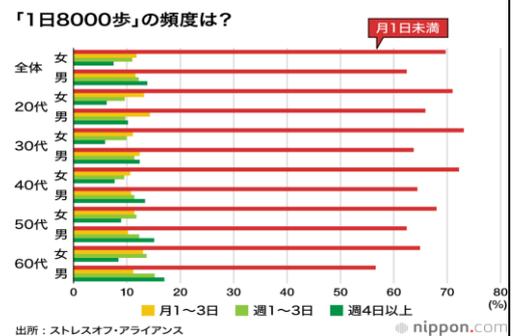
現状を踏まえ GUMI は多摩市の課題、特に地域の魅力発見に貢献するべく結成、活動をしてきました。

なぜこの企画をするのか

引用元 <https://www.nippon.com/ja/japan->

[data/h00719/](https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00719/)

これは無作為に選ばれた日本人14万人に聞いた普段週に1日でも8000歩あるいたかの割合です。年代別でこれといった差がなくそれどころかどの世代も過半数が1日も歩けていないとわかります。厚生労働省が掲げる成人男性の1日8000歩に届いていないのが現状でその理由に歩くのが嫌だからだと考えました。そこで街へ行き実際に聞き取り調査をしました。すると散歩をして



いる人自体は全体の約6割と真反対の結果が出てきました。ここで GUMI は散歩自体する人が多いが8000歩までは歩けないと結論付け、そのうえで到達できない理由は達成感の不足なのではないかと考察しました。

そこで GUMI はこう考えます。きついあの坂を登れば、長い階段を上ったら、こんなに苦労して来たなら何か達成感が欲しいと誰しも思うでしょう。いくらその地域に名所や分かりやすい魅力がなくても景観を意識させれば必ず人の心を動かせるし達成感が生まれる。景色がいいところを視覚的に示し、街を歩くことを楽しくさせられてそれが多摩市の魅力につながるのではないかと考えました。これがこの企画の根幹であり存在理由です。

私たち GUMI は実際に地域の人たちにアンケート調査を実施しこの企画の有効度や市民の期待を調査しました。以下データ



2.地域の活性化につながる活発になる

3.観光客へのアピール

特に関心があるのが外国人観光客。外国人は日本らしい街の風景に一定の需要があります。そのためこの企画を外国人向けにもできないかと考えた。一つにサイトを多言語化できるようにします。QRコードは外国人でも簡単にサイトにアクセスできるのが利点の一つだと考えています。またアニメなどのモデルとして多摩市が使われた作品も多く、今後はそことうまくかみ合わせた活動をしたいです。

4.フィールドワークや課題解決に応用できる

副次的な効果としてこのスポットを市民のあらゆるしたいを実現させるべくオープンに公開し誰でもイベントを企画し魅力を創造・発信できるようにしたいです。

企画と街の親和性

多摩市は日本一長い遊歩道有しており歩く行為のハードルがほかの町に比べ低く。また高齢者が多いことから散歩を趣味にしているかたが非常に多く感じます。そして自然が多く、丘などの高低差が見晴らしの良い特徴的な景色を見せてくれます。このことから多摩市とこの企画は親和性が高く成功しやすいと考えています。

Blank area for content.

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 実現する主体

主に GUMI と企画賛同者

2. 実現に必要な物資

資源	内容	詳細
モノ	コピー用紙	・PR 用 200 枚。 ・QR コード用 4 枚。(プレ実施で 1 枚、本番で 3 枚。)
	サイト	
	QR コード	・AI イラストを活用した QR コード 数パターン
	場所の確保	・QR コードの設置場所の確保 ・PR 用ポスター設置場所の確保
ヒト	GUMI メンバー	高校生 6 人
	土地の所有者	QR コード・ポスターを設置する土地の所有者。
	賛同者	サイト管理等
カネ (現時点)	コピー用紙代(200 枚)	約 500 円
	コピー代(200 枚)	約 2020 円

	合計	約 2520 円
--	----	----------

金に関してはローコストを徹底する。その上での雑費は要相談の上納得できるよう解決します。

物に関しては PR 用の紙、目印の用意とそれを貼る場所の確保。そして、人に関してはサイト関係に詳しい人を取り入れる必要があります。

3. 実現までの流れ

プレ実施までの流れ

プレ実施までの間の大半をこのコンクール含む企画書作成に費やしました。ただすでにサイトや QR コードはプレ実施の準備ができており多摩市との連携もあり試験場の話も円滑に進んでいます。プレ準備の残りは PR のみというところまで進んでいます。詳細としてプレ実施の際のスポット地点は 1 本に絞り、期間内に何人が来てコメントするのかなど調べるつもりです。なお期間は約 2 週間を目安に場所は多摩市と協力してパルテノン多摩に設置を検討中です。

本番までの流れ

プレ実施で得た情報をもとに分析して全体の改善・サイトの修正を行います。また本番はスポットを 3 つに増やすためそれぞれの候補地にスポット設置の協議や QR コードの別途作成、大規模な PR 活動を計画しています。しかし相応の長い期間を必要とします。本番の詳細として期間はプレ実施の倍以上を想定し、持続性が求められるため可能な限り続ける予定です。

2. アイデアの説明(公開)

(2) アイデアの理由(公開)

